

大東文化大学経済学会（2019 年度）

学生懸賞論文等募集要項

（2）研究ノート部門・エッセイ部門・博物館小論文部門

大東文化大学経済学会では、毎年、経済学会の学生会員である本学部所属の学生を対象に「懸賞論文」等を募集しています。今年度は「懸賞論文」・「研究ノート」・「エッセイ」・「博物館小論文」を募集します。それぞれの部門の募集要項をよく読み、奮ってご応募ください。なお、募集要項は（1）「懸賞論文部門」と（2）「研究ノート部門・エッセイ部門・博物館小論文部門」の2つに分かれており、この募集要項は「研究ノート部門」・「エッセイ部門」・「博物館小論文部門」について書かれていますのでご注意ください。

§ 1. 執筆について

研究ノート部門

内容

この部門は受講している講義・演習や読書から得たヒントやアイデアをもとに、自ら実験やフィールドワーク、アンケートをおこなった調査結果などを整理したもの、またデータ（国の統計資料など）の二次的利用による独創的な解析・考察、特定のテーマに関する文献レビュー、経済や経済学に関連した書籍（教科書を除く）を読みそれをまとめたうえでオリジナルな見解や考察を加えたものなどを募集対象とします。経済や経済学に関連したものに限られますが、「論文」としてまとまっていなくても構いません。個人またはグループでの自発的な取組みを是非、発表してください。

応募規定

- ・ 応募資格者は、大東文化大学経済学部在籍する全ての学生です。
- ・ 未発表かつ日本語で書かれたものに限り、未発表のものに限ります。
- ・ 応募資格者の共著（2人以上の執筆）も認めます。共著の場合は、各執筆者の論文に対する貢献部分（担当）を別紙に記して提出してください（可能な範囲で構いません）。
- ・ 文字数は2,000字以上4,000字以内とします。
- ・ 二重投稿（同じものを他の論文コンテスト等に重複して応募すること）は禁止します。
- ・ 経済学演習成果発表会での発表テーマと同一の論文も受け付けます。ただし、前年度までの成果発表会において発表した内容を論文にして提出する場合は、審査員から受けたコメントやアドバイスをもとに改善・応用・発展された内容のものに限ります。その場合、成果発表会での発表内容と論文の違いを別紙に記して提出してください。

体裁

規定の投稿用フォーマットを使用してください。

1. 表紙にタイトルと執筆者全員の学科・学年・所属一所属ゼミ（〇〇ゼミ）/基礎演習クラスの担当教

- 員名(基礎演習〇〇先生クラス)/所属なし・学籍番号・氏名を必ず明記してください。
2. 本文の冒頭に目次を付けてください。また本文には必ずページ数を打ってください。
 3. データ図表は本文中に入れてください。ただし、字数には換算しません。
 4. 書籍や新聞等の文献から引用及び発想を転用した場合は、それらを明記してください(表記方法については別紙参照)。また、ホームページ上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記し、プリントアウトした資料を添付してください。
 5. タイトルの後に総文字数を入れてください(タイトル・目次・文献リストは除く)。

エッセイ部門

内容

この部門では皆さんが大学生としての生活で得たさまざまな経験をもとに書かれた自由な「文章」を募集します(形式は問いません)。例えば、留学、ボランティア、資格試験、各種委員会(オープンキャンパスなど)、部活など、さまざまな経験から得られた皆さんの「大切なもの」を文章の形にして残してみましよう。一昨年・昨年の優秀賞作品を参考にしてください(紙媒体のものは板橋校舎2号館5階エレベーターホールの前にあります)。

応募規定

- ・ 応募資格者は大東文化大学経済学部_に在籍する全ての学生です。
- ・ 未発表かつ日本語で書かれたものに限り_{ます}。
- ・ 単著(執筆者は1人)に限り_{ます}。
- ・ ワードプロソフトで入力_のうえ、文字数は1,500字以上と_しま_す。

体裁

規定の投稿用フォーマットを使用してください。

1. 表紙にタイトルと執筆者の学科・学年・所属—所属ゼミ(〇〇ゼミ)/基礎演習クラスの担当教員名(基礎演習〇〇先生クラス)/所属なし・学籍番号・氏名を必ず明記してください。
2. 本文には必ずページ数を打ってください。
3. データ図表は本文中に入れてください。ただし、字数には換算しません。
4. タイトルの後に総文字数を入れてください(タイトルは除く)。

博物館小論文部門

内容・応募規定・体裁等は別紙にて定める。

§ 2. 提出方法・結果発表等について

研究ノート部門およびエッセイ部門

応募締切日・掲載可否の発表

- ・ 応募締切日
2019年11月5日（火）17時
- ・ 掲載可否
一定の水準にあると認められた「研究ノート」、「エッセイ」はそれぞれ『学生懸賞論文集』に掲載されます。『学生懸賞論文集』への掲載可否は編集委員会で審議・決定します。
- ・ 賞金
掲載された場合には奨励賞（賞金3千円）、特に優秀と認められたもの（1件）には優秀賞（賞金1万円）が与えられます。また、入賞者以外で、応募規定を満たし、編集委員会が一定の水準を満たしたと認めたもの全てに参加賞が与えられます。

応募先・問い合わせ先・その他

1. 応募先

tsubuku@ic.daito.ac.jp 経済学会編集委員 津布久 将史

- ・ Word ファイルで提出してください。
- ・ メール の 件名 を 応募 部門 に 応じて、「2019 研究ノート部門応募」、「2019 エッセイ部門応募」としてください。
- ・ メール 本文 に、「学科」、「学年」、「所属—所属ゼミ(○○ゼミ)/基礎演習クラスの担当教員名(基礎演習○○先生クラス)/所属なし」、「学籍番号」、「氏名」を記入してください（共著の場合は代表者を筆頭にし、全員の分を記入してください）。

注：応募者には、受領確認の返信を行います。万一、応募から2～3日経過しても返信がない場合、再度、お問い合わせください。

2. 問い合わせ先

tsubuku@ic.daito.ac.jp 経済学会編集委員 津布久 将史

3. その他

- ・ 編集委員会の判断により、入賞者の所属・氏名を公表することがあります。
- ・ 応募にかかわる個人情報は本コンテスト以外の目的では使用しません。

博物館小論文部門

博物館小論文部門の、応募締切日・掲載可否の発表、および応募先・問い合わせ先・その他の規定は別紙にて定める。

以上